

## 令和4年度第1回経営委員会 会議の記録

日 時：令和4年9月8日（木）18時～19時

場 所：市立旭川病院外来棟3階 中会議室

※外部委員は新型コロナウイルス感染防止のため Zoom により参加した

出席者：

（内部委員8人）

齊藤委員長，青木委員，石井委員，笹村委員，柿木委員，村上委員，木村委員，古川委員

（外部委員4人）

小関委員，滝山委員，古川委員，宮嶋委員

（事務局5人）

高橋事務局次長，江洲医事課長，山内経営管理課課長補佐，高橋財務係主査，田村医療情報係主査

欠席者：高橋委員

会議の公開・非公開：公開

傍聴者の数：0人

資 料：会議次第

委員名簿

資料1 第4次中期経営計画の策定スケジュール等について

資料2 第4次中期経営計画（素案）

資料3 第4次中期経営計画（素案）のポイント

会議内容

### 1 開会挨拶

齊藤委員長から開会挨拶を行った。

### 2 委員紹介

事務局から昨年度から変更となった委員（古川委員，村上委員）の紹介を行った。

### 3 議題

（1）中期経営計画の策定スケジュール確認等について

事務局から資料1に基づき説明。意見や質問はなし

（2）中期経営計画の素案の検討

事務局から資料2，3に基づき説明。

(主な質疑)

A 委員

計画書 30 ページにある収支計画について、令和 5 年度から令和 8 年度の単年度資金収支がマイナスとなっているが、コロナ補助金がない前提で作成したということか。収支を圧迫している理由について教えてほしい。

また、計画最終年度に黒字化するものとしているが、具体的にはどのように収支を改善するのか。

事務局

令和 5 年度以降は、コロナ補助金はない前提で作成しております。

収支を圧迫している要因の一つとして、令和 3 年度に電子カルテを更新した際に借り入れた企業債の返済負担が多額であることです。この返済は令和 8 年度で終了することから、令和 9 年度に収支が改善する見込みとなっています。

齊藤委員長

付け加えますと、当院ではコロナの診療制限により大幅に減ってしまった患者を元の水準に戻していくために、ダヴィンチをより多くの症例で活用することで手術件数を増やすこと、病診連携の推進や入退院支援センターの活用により患者数を増やすことで医業収益の増収を目指し、黒字化を達成したいと考えています。

A 委員

働き方改革への対応、タスクシフトへの取組、クラーク（医師事務作業補助者）の活用状況について教えてほしい。

齊藤委員長

まず働き方改革ですが当院の場合は、B 水準で考えています。また、今年 11 月から管理者、院長、副院長及び統括診療部長を除く全ての医師を管理職から一般職にし、時間外勤務手当の支給に向け、準備しているところです。

石井委員

当院の場合は大学病院の様に連携 B 水準とはならないと考えています。

タスクシフトは病院全体で一律に取り組むのではなく、B 水準になりそうな診療科に集中して対応するのが、時間外勤務の削減には効率的と考えています。

齊藤委員

タスクシフトについては各部門で何ができるが提案を募っており、院内プロトコルを作成中です。また、クラークは配置済みですが、書類の整理等にとどまっており、業務内容の見直しが必要と考えています。

B 委員

計画書 30 ページの資金計画において資金残高がマイナスとなっているがこれはあり得ることなのか？

事務局

制度上はあり得ることで、一時借入金で病院運営を行っていることを意味しています。令和 9 年度の単年度資金収支が黒字となっているので、令和 9 年度以降は改善できるものと考えています。

斉藤委員長

それでは御異議などなければ、お示した素案を原案とし、今後、北海道が開催する地域医療構想調整会議や旭川市議会への提出及び、パブリックコメントを通じて旭川市民へ示していきたいと思えます。

各委員

異議なし

斉藤委員長

予定している議事は全て終了となりましたが、議事にかかわらず他にご意見やご質問等はございませんか。

現在当院では一般病床を制限するなど、新型コロナウイルスに全力で対応しているところです。現時点では国からの支援を活用することにより経営への影響は最小限にとどめることができているのですが、ウイズコロナを見据えた時、落ち込んでしまった患者をどこまで戻すことができるかが大きな課題と考えています。

そのため、我々経営陣が先頭に立って経営改善に向けた様々な取組を実現していくつもりでございますので、今後とも何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、今後、計画について新たな北海道の動き等があった際は、必要に応じて事務局から御連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

以上